

次期総合計画で取り組む施策の方向性

施策1 犯罪・事故のない安全・安心な地域の実現

- 防犯意識の向上と防犯活動の推進
- 犯罪被害者等への支援
- 交通安全対策の推進
- 自立した消費者の育成と消費者被害の防止
- 総合的な雪対策の推進

施策2 快適で質の高い生活環境の実現

- 食品の安全・安心に向けた衛生管理の推進
- 生活の安心を支える生活衛生関係業者への支援
- 動物の愛護と適正な飼養の推進

施策3 豊かな自然と良好な環境の保全

- 豊かな自然環境の保全と自然公園等の利活用の促進
- 野生鳥獣の保護管理と被害防止対策の推進
- 大気、水、土壌等の環境保全対策の推進
- 三大湖沼の水質保全対策の推進



提言に向けてのポイント

施策1 犯罪・事故のない安全・安心な地域の実現

- 自主防犯活動団体の減少や活動員の高齢化が進む中、防犯活動の担い手を確保するにはどのような取組が必要か。
- 現在構築中の多機関ワンストップサービスを効果的に進めるためには、どのような取組が必要か。
- 交通安全対策について、特に、高齢者の交通事故と自転車の安全利用に向けた取組は、どのように進めるべきか。
- SNS等を用いた特殊詐欺などの消費者被害を防ぐために、どのような取組が必要か。
- 依然として、高齢者を中心に発生している除排雪作業中（特に屋根の雪下ろし中）の人的被害をどのように防いでいくか。

施策2 快適で質の高い生活環境の実現

- HACCPに沿った衛生管理の徹底と適切な運用を推進するためにはどのような取組が必要か。
- 主に中高生を対象として、生活衛生関係営業に係る担い手の確保はどのように進めるべきか。
- 依然として収容頭数が多い猫について、適正飼養を進めていくためにはどのような取組が必要か。

施策3 豊かな自然と良好な環境の保全

- 生物多様性など豊かな自然環境を保全する意味や重要性について、主に児童・生徒を対象として県民の理解を促進するにはどのような取組が必要か。
- 豊かな自然環境を保全しつつ、白神山地や自然公園等の利活用を促進するためには、ガイドによる案内など、どのような取組が必要か。
- 野生鳥獣の市街地出没等を抑制し、被害の軽減・防止を図るためには、デジタル技術を活用した対策など、どのような取組が必要か。
- 県内の大気、水、土壌環境の良好な状態の維持には、どのような取組が必要か。
- 湖沼の水質の維持や改善には、どのような取組が必要か。
（環境基準未達成項目 十和田湖：COD、田沢湖：pH、
八郎湖：COD・全窒素・全りん）